

2008 年度

<p>科目名</p> <p>文化財学研究指導及び演習（文化財形態論）</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>研究科前文1回生 研究科後文1回生</p>	<p>担当者</p> <p>小林 典子</p>
<p>授業テーマ</p> <p>文化財学のうち、とくに西欧文化財（絵画、彫刻、建築その他の芸術ジャンル）を中心に研究指導をおこなう。</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>西欧文化財のなかから、初期ルネサンス絵画研究史を研究モデルとしてとりあげ、これについての基礎的講義をおこなう一方、各自の研究論文作成へむけての準備にとりくみます。前期授業中に各自研究テーマを設定し、後期授業では選択したテーマについて研究発表をおこないます。資料収集と資料読解技術の向上にも積極的にとりくみたい。</p>		
<p>評価方法</p> <p>授業への参加意欲や発表 40%</p> <p>期末レポート 60%</p>		
<p>テキスト</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>『美術史と美術理論』 その他授業中に適宜指示</p>	<p>著者</p> <p>木村三郎</p>	<p>出版社</p> <p>放送大学教材</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>[前期授業]</p> <p>1.. 開講にあたって：授業プログラムとオリエンテーション</p> <p>2. 資料検索の実践</p> <p>3～8. 研究テーマ設定にむけて、研究モデル講義</p> <p>9～14. 研究テーマ設定にむけて、研究法の学習と実践</p> <p>15 まとめ</p> <p>[後期授業]</p> <p>1..開講にあたって：授業プログラムとオリエンテーション</p> <p>2～14. 研究発表とディスカッション</p> <p>各自の研究テーマについて発表をおこない、資料の収集やテーマの分析、論の構築法など研究の進め方を検証していく。</p> <p>15 総括</p>		